

週間感染症情報

2024年31~33週 2024年7月29日より2024年8月18日まで

31週 32週 33週

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)		1	2
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	9	14	
手足口病	78	59	8
ヘルパンギーナ	6	2	1
伝染性紅斑		1	
感染性胃腸炎	13	12	7
ノロウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹	1	4	
伝染性膿痂疹(とびひ)	10	9	2
ヘルペス性口内炎			
アデノウイルス感染症			
RSウイルス感染症	4	7	2
マイコプラズマ感染症	3	5	2
ヒトメタニューモウイルス			
インフルエンザ			5
インフルエンザ A			5
インフルエンザ B			
新型コロナウイルス感染症	122	66	126

2024年31~33週の盆休みをはさんでの3週間の報告です。インフルエンザAの報告が33週に5例ありました、そのうち2例が海外よりの帰国関係例でした。34週にはタイより帰国例が3例ありました。

コロナは、昨年と同様の傾向です。一時減少していましたが、8月末になり中高校生の感染例が増えて言います。

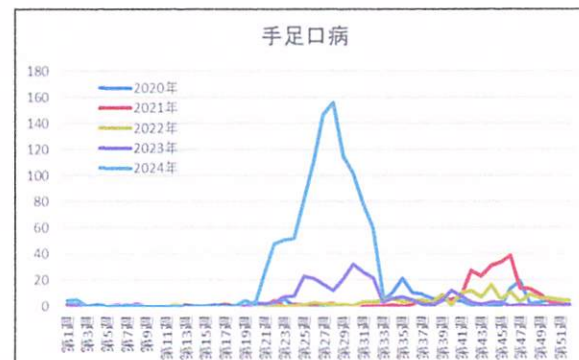
溶連菌感染症は減少しています。このまま減少してくれるとありがたいのですが・・・。

手足口病、ヘルパンギーナは流行の山は越えて大きく減少しています。

RSウイルス感染症は、年少児のみ検査をしていますが、だらだらと

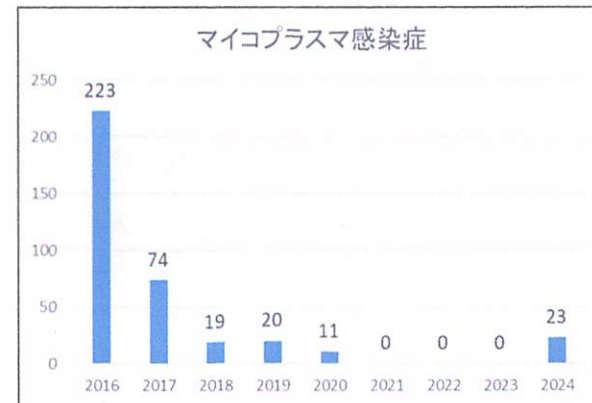
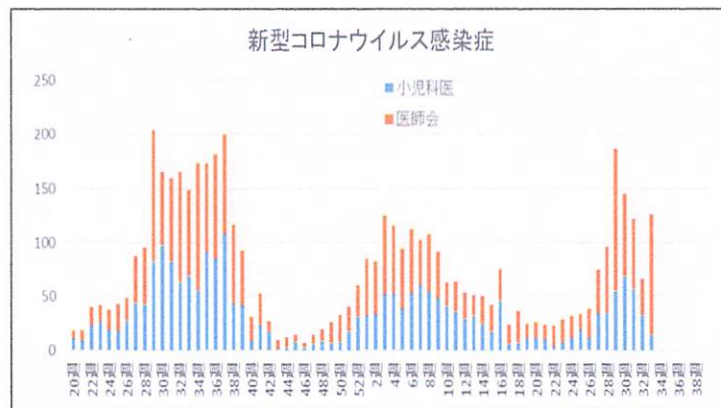
続いています。風邪で終わっている年長児も多いと思います。

マイコプラズマ感染症の報告が7月頃より見られるようになり、右下のグラフのように増加しています。潜伏期間は2週間程度と長く、飛沫感染です。発熱がなく、咳が長引き風邪ですましている場合も多いと思われます。発熱が続く場合は受診してください。



体調不良の場合は休み、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。

医療機関・密な環境・公共交通機関では マスクの着用をお願いします。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)